



公益社団法人
滋賀県理学療法士会
ニュース

No.171 (2012-2)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2012. 4. 1発行

発行者：(社)滋賀県理学療法士会 本白水 博
〒520-8575 大津市御陵町3-1
大津市健康保険部 健康長寿課
電話 077-528-2741 FAX 077-526-8382

編集者：藤堂 光洋(東近江市立能登川病院)
西村謙太郎(公立甲賀病院)

印刷所：(有) 東 呉 竹 堂 (ひがし印刷)

高齢者虐待を未然に防ぐため

滋賀県社会福祉会会長

松 田 正 義

理学療法士会のみなさま、こんにちは。社会福祉会の松田です。少しでも自己紹介をさせていただきます。私は病院での医療ソーシャルワーカーの勤務を経て、独立型の社会福祉事務所を開設して今年で10年になります。成年後見人活動(8名)や家庭裁判所での調停業務、県の福祉サービス利用者の苦情解決対応業務、また高齢者虐待対応支援ネット活動等おもに高齢者や障害者の「権利擁護」を中心に活動させていただいております。

さて今回は滋賀県社会福祉士会が2010年から2011年と2年間にわたって滋賀県の後援を得て取り組んだ「滋賀県高齢者虐待対応現任者研修会」のことを報告させていただきます。高齢者虐待防止法が施行されて早くも5年が経過いたしました。近年の高齢化の進展、複雑な家庭環境、家族機能の脆弱化、経済背景等が複層的に絡み合っており、毎年全国で約1万7千件位(死亡30～40名)の高齢者虐待(身体、介護放棄、心理、性的、経済的)の事例が報告されております。

通常、養護者が絡んだ家庭内虐待は密室内で行われるため、なかなか表面には現れにくく、発見された時は相当重篤な状況といったケースがみられます。虐待は高齢者に対する最も重大な権利侵害であり、早期に発見し高齢者の生命や身体、財産を保護し安全で安心な生活を再構築する必要があります。今回はこの法律の責任主体となっている市町の職員、また対応期間の地域包括支援センター職



員、加えて水際で虐待事例に遭遇し易い職場の居宅介護支援事業所の職員が参加、日本社会福祉会によって考案された帳票(ツール)を用いて講義やグループに分かれての演習など3日間にわたって熱心な学びの時となりました。高齢者虐待対応には各関係者のチームによる対応に加えて医師、弁護士、社会福祉士などの専門職や地域福祉関係者(民生委員、福祉協力員等)も巻き込んだネットワークが不可欠となっております。高齢者が地域で安心した自立した生活を営めるよう「地域包括ケアシステム」の実現に向けての取り組みが進められているなかで、擁護者が虐待の発生要因となる障害や疾患、介護負担や生活上の課題を抱えて孤立した生活をよぎなくされている世帯へのきめ細かい地域での見守り体制が、虐待の早期発見と未然防止につながります。

皆様方におかれましても日々の業務を通して虐待が疑われる事例に遭遇されました時は躊躇することなく関係機関にご連絡をよろしくお願い申し上げます。

第2回写真コンテスト 作品募集



滋賀県理学療法士会厚生部では、“とっておきの1枚”をテーマとした第2回写真コンテストを開催し、会員の皆様からの作品を大募集致します。

◆応募期間

平成24年4月16日（月）～平成24年6月30（土）

◆テーマ 【とっておきの1枚】

人、動物、風景・・・見る人に驚き・感動を与えるあなたの“とっておき”をご応募ください。

◆各 賞

グランプリ(1名) 準グランプリ(1名) 優秀賞(5名)

士会長賞(1名) 厚生部長賞(1名) 参加賞(入賞者以外)

【各賞ごとに副賞を用意しております。昨年はデジタルフォトフレームなどでした。】

※入賞作品は抄録集や県士会ホームページ等に使用します。

◆審査方法・審査発表

滋賀学会（7月15日）の会場にて会員による投票で決定します。会長賞・部長賞は除く。

審査結果は本人連絡および士会ニュースで発表します。

◆応募方法

デジカメ・携帯電話で撮影したものを下記までお送りください。件名を“写真コンテスト”とし、①写真題名、②氏名、③所属、④連絡先を記入してください。

※ファイルサイズが大きい場合は、必ず圧縮してからお送りください。

応募先：ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp（ptshigaの後はアンダーバー）



第1回写真コンテスト グランプリ作品

題名：『僕の見る未来』

◆注意事項

- ・応募は1人につき1点とします。
- ・被写体の肖像権侵害等の責任は負いかねます。
- ・応募者本人が撮影し、すべての著作権を有しているものに限りします。
- ・全応募作品の使用権は主催者に帰属し、プリント展示・出版物等へ無償で使用させていただきます。
- ・テーマにそぐわないもの・不鮮明なもの等は、応募されても無効とします。

お問い合わせ先：

東近江市立蒲生病院 リハビリテーション科 奥田
TEL：0748-55-1175（代表）

滋賀県理学療法士会 厚生部

平成24年 4 月 1 日

会 員 各 位

公益社団法人 滋賀県理学療法士会
会 長 本白水 博
(公印省略)

平成24年度定期総会開催通知

平成24年度定期総会を新定款第15条に基づき下記の通り開催いたします。会員各位におかれましては、ご出席、ご審議賜りますようご通知いたします。

記

日 時：平成24年5月20日15時15分開始
場 所：滋賀県立男女参画センター G-NETしが

尚、総会の日時等が変更になることもございます。別に発送される総会案内、および定期総会議事録をご確認の上ご出席ください。

公益社団法人となって第1回の定期総会となり、新定款に則って執り行われます。総会の成立には会員の過半数の出席が必要です。出席できない会員の先生方は委任状を必ずご提出ください。今回は新役員の選出を行います。今回の総会ではこれまでと違って理事、監事を選出します。会長、副会長は後日、理事会にて決定することになります。詳しくは議案書をご覧ください。

以 上

厚生部 公募事業募集中！

今年も厚生事業を会員各位より募集し、厚生部から事業運営費を援助させていただきます。以前からこんな事をしてみたいと企画を温めておられた先生方、スポーツ大会の企画を考えておられる先生方は是非ご応募ください。

尚、今回から募集期間が変更になっていますので、ご注意ください。

◆申し込み方法

氏名・所属・連絡先・簡単な事業内容（企画案・予算案など）を明記して、“公募事業申し込み”の件名で下記アドレスまでE-mailにてお申し込みください。厚生部より折り返しご連絡させていただきます。なお応募多数の場合は、厚生部で審査・決定いたしますのでご了承ください。

厚生部受付E-mail：ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp

◆募集期間：平成24年 4 月 1 日～平成24年 5 月31日

◆お問い合わせ先：東近江市立蒲生病院 リハビリテーション科 奥田

TEL：0748-55-1175（代表）

新入会員歓迎会のご案内

今年も恒例の新人歓迎会を開催致します。この春、滋賀県理学療法士会へ入会されました新人理学療法士の先生方ならびに既存会員の先生方、是非お誘い合わせの上ご参加の程よろしくお願い致します。

日 時：平成24年6月24日（日） 17：30～19：30

※新人研修会終了後に開催します。

会 場：あたか飯店 浜大津店

会 費：新入会員 無料

既存会員 3000円

交通手段：研修会会場から送迎バスを出す予定。

交流会も兼ねていますので、
既存会員の先生方も是非
参加してください！

【各施設の代表者様へのお願い】

平素より士会活動にご尽力いただきありがとうございます。この春より新人理学療法士が入職されました施設におきましては、新人の先生方へ歓迎会参加申し込みのご案内をよろしくお願い致します。

申し込み方法：新人研修会の申し込みと合わせて生涯学習部宛にお申し込みいただくか、厚生部宛にE-mailかFAXにてお申し込みください。どちらか一方でかまいません。

申し込み先：E-mail h-kawasaki@pt-si.aino.ac.jp（生涯学習部・研修会申し込みと合わせて）
ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp（厚生部受付）

※件名・氏名・所属・送迎バスの有無を必ず明記してください。件名は、生涯学習部宛の場合は“1年次新人研修会・新人歓迎会申込み”、厚生部宛の場合は“新人歓迎会申込み”としてください。

FAX 0748-55-1178（東近江市立蒲生病院 リハビリテーション科 奥田 宛）

※飲酒の席ですので公共交通機関、送迎バスの利用をお願い致します。また会場の駐車スペースが限られており駐車できない場合があります。可能な限り送迎バスの利用をお願い致します。前日・当日キャンセルについてはキャンセル料を徴収させていただきますのでご注意ください。

厚生部

新人紹介



保利 知花

病院名：琵琶湖中央病院
出身：滋賀県
趣味：映画鑑賞

ひとこと：今年から琵琶湖中央病院で勤務しております、新人理学療法士の保利知花です。理学療法士という仕事の難しさを感じ、先輩方に助けをいただきつつ日々働かせて頂いていることに感謝しています。これからも毎日の忙しさに負けず、毎日笑顔を絶やさないように患者様と向き合っていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

平成23年度 第8回社団法人滋賀県理学療法士会理事会議事録(要約)

日 時	平成23年12月5日(月)	18時30分～20時30分
会 場	滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部 作業療法室	
出席者	本白水博、平岩康之、松岡昌巳、宇於崎孝、酒井英志、柴田健治、 武田庄索、弘部重信、久保貴弘	

○報告事項

1. 各部・各委員会の活動について

次年度について事業計画を各部で計画中である。

2. 各種会議報告

包括的会員システム説明会 12月3日東京工科大学 平岩事務局長 岩井総務部員の出席。

3. その他報告事項

- 1) 理学療法講習会応用編 11月23、24日滋賀医療専門学校 参加者数が例年よりかなり少なかった。今後の運営について検討していきたい。
- 2) 日本理学療法士協会より診療実態に関する調査について、調査対象施設の推薦の依頼があった。

4. 理事の意見、意向

- 1) に関しては担当理事と担当者と話し合って次年度の計画を吟味していただき次回の理事会で議題として提出していただきたい。
- 2) に関しては介護保険部と診療報酬部でとりまとめていただきたい。

○審議事項

議題1 議事録署名人選出の件 (副会長 平岩)

報告・説明 本白水会長 松岡副会長、平岩副会長の3名を議事録署名人とする。

質疑応答 特になし

議 決 議題は、満場一致で承認された。

議題2 次年度公開講座計画の件

添付資料1 資料2

報告・説明 資料1、2のように次年度公開講座を計画したので承認いただきたい。

質疑応答 特になし

議 決 議題は、満場一致で承認された。

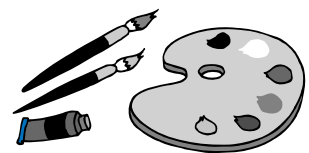
議題3 各研修会の一般参加について

報告・説明 定例研修会等においても理学療法についての情報提供のために一般参加を促進したい。

質疑応答

議 決 議題は、満場一致で承認された。

理事会添付資料については膨大な量になるためニュースへの掲載は割愛させていただきました。ホームページで公開する予定としておりますのでそちらをご参照ください。



会長行動録

1月12日(木) 県医会新春懇談会出席

1月13日(金) 県と医療専門職人材育成について協議

1月23日(月) 平岩副会長との打合せ

1月28日(土) 全国士会長会議(東京)

2月9日(木) 県公衆衛生学会出席

2月13日(月) 理事会

2月18日(土) 近畿介護支援専門員研究大会出席

2月26日(日) 滋賀県病院大会

平成23年度 第9回社団法人滋賀県理学療法士会理事会議事録(要約)

日 時	平成24年1月12日(木)	18時30分～20時30分
会 場	滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部 理学療法室	
出席者	平岩康之、松岡昌巳、宇於崎孝、柴田健治、武田庄索、弘部重信、久保貴弘	

○報告事項

1. 各部・各委員会の活動について

事務局：平岩

退会届の受理2名 会員数647名 施設数111施設

公益法人移行申請について

滋賀県公益認定等検討委員会より公益法人として適当であるという答申をいただいた。登記等の手続きを経て4月より、公益社団法人となる予定。印鑑等必要な物品を購入する。

会費の徴収について

次年度より協会への会費徴収の一元化をより強力に進める予定

士会口座への振込みはやむを得ない場合以外は行わない方向で次号の事務局便りに掲載する。クレジットカードを利用したくない会員の把握をし、協会による口座振替等による集金を進めたい。

包括的会員管理システムについて

4月より会員異動手続き、生涯学習管理がWEB上で開始される予定。

会員管理用、生涯学習用のPCを購入。2月にテスト運用が始まるため、それまでに必要なセッティングを行う。現在インターネット2回線使用しているが、1回線8000円を超えていることもあり、次年度からは現在のものを解約して、新たにdocomoまたはemobileと法人契約したいと考えている。

職能部：特になし。

IT部：求人情報の掲載を検討中 新ホームページ開設と同時に開始

広報部：こんな本読みましたの著者不明 確認してもらう。

厚生部：フットサルの定例化。

研修部：費用の支払い方法の確認。

生涯学習部：包括的会員システムへの対応を検討してもらう。

介護保険部：PT,OT,ST合同研修会 訪問リハ研修会の開催。

保険福祉部：特になし。

学術誌部：特別寄稿の原稿の遅延。

公益事業部：なし。

教育部：アンケートの収集終了 今後の活用を検討。

表彰委員会：滋賀県公衆衛生学会賞 小寺先生が受賞。

滋賀県理学療法学会：特になし。

その他：理学療法講習会のあり方について検討が必要。

2. 各種会議報告

平成23年12月20日(火) 大津保健所にて開催された。

今年度の特別公演はAMDA 理事長 菅波茂先生 「災害発生時の地域保健のあり方」に決定。

各構成団体に座長依頼があり、当会からは本白水会長が老人保健分野を担当する予定。

当日、座長推薦された講題の中から優秀なものに対して全国公衆衛生学会、公衆衛生学会近畿地方会への推薦を行う予定。

平成25年の公衆衛生学会近畿地方会は滋賀県主催で行われる予定。

3. その他報告事項

第51回近畿理学療法学会 収支について 中間報告(実行委員会よりの報告)

収入はおおむね予算通り。支出がやや多い状況。

4. 理事の意見、意向

生涯学習部は新人教育システムで負担が大きい。新人教育以降の生涯学習システムと分担を分けるべきではないか(平岩)。

分掌規定の作成が必要ではないか(弘部)。

分掌規定については原案を作成し今年度中の理事会で決議をとります(平岩)。

○審議事項

議題1 議事録署名人選出の件(副会長 平岩)

報告・説明 平岩理事、松岡理事、宇於崎理事を議事録署名人としたい。

質疑応答 特になし

議 決 議題は、満場一致で承認された。

議題2 平成24年度予算・事業計画（副会長 平岩）

報告・説明 資料1の予算について検討していただきたい。

質疑応答 登記費用、ホームページの更新費用など一時的な出費を除けば収支のバランスが適当。公益と公益以外の事業とのバランスが微妙なため、顧問税理士と相談して細部の調整が必要。（平岩）

議 決 細部の修正が必要なため継続審議とする。年度内に最終決定を行う。

議題3 公益法人について

報告・説明 登記関係の手続きについて小澤事務所に委託したい。また、それに必要な予算を承認していただきたい。

質疑応答 特になし

議 決 議題は、満場一致で承認された。

議題4 次年度理事会のあり方・場所

報告・説明 理事会は年6回としたい。場所は滋賀医大としたい。また、4役会を隔月で設けたい。

質疑応答 理事会のあり方が議決が主であればもっと少なくてよいのではないかと（柴田）。

議題の量によって回数を変更したい。とりあえず来年度は隔月にして様子をみたい（平岩）。

議 決 議題は、満場一致で承認された。

議題5 その他

報告・説明

1) 公益法人認可に伴い士会ホームページを更新する必要がある。そのため、今年度内から作業を始めたい。また、必要なページの執筆をお願いしたい（平岩）

質疑応答 とくになし。

議 決 議題は、満場一致で承認された。

2) 公益法人認可に伴い法人のロゴマークを変更したい。現在のロゴマークは日本理学療法士協会の下部団体で会った時のなごりであり、現在でもJPTAの文字が記されている。この際一新したい。（平岩）

議 決 議題は、満場一致で承認された。

現在のロゴマークのイメージを維持しつつ、格調高いものとする。プロのデザイナーにデザインを依頼する。

平成23年度 第10回社団法人滋賀県理学療法士会理事会議事録(要約)

日 時	平成24年2月13日（月）	18時00分～20時00分
会 場	滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部 物理療法室	
出席者	本白水博、平岩康之、松岡昌巳、宇於崎孝、酒井英志、柴田健治、武田庄索、久保貴弘	
欠席者	弘部重信	
議 長	定款の定めにより本白水会長とする。	
宣 言	(会長 本白水) 定款に定める要件を満たしている（定足数理事 1/2 以上の出席）ことを確認して理事会成立を宣言した。	

○報告事項

各部・各委員会の活動について

事務局：総務部 会員異動 休会 2 県内異動 3
転出 1 転入 1 復会 1 施設数 110 会員数 638

財務部

会費未納 12月末 51名 協会より督促済み

例年以上に予算の執行状況が悪い

登記に必要な書類を準備中

職能部：特になし

IT部：ホームページ作成依頼中。

広報部：2月号ニュース発行。前回著者名の脱落到いて、今回のニュースに謝罪文を掲載。

厚生部：次年度公募事業募集についてニュースに

掲載

研修部：特になし。

介護保険部：情報交換会を4/22に行う。

診療報酬部：情報交換会を4/22に行う。

保健福祉部：2/11に部会を行った。

公益事業部：おうみ仕事フェスタより感謝状をいただいた。

表彰委員会：3月滋賀医療技術専門学校にて成績優秀者に士会長賞授与 県公衆衛生学会にて小寺先生が受賞。会長が代理で受理。

滋賀県理学療法学会：特になし。

その他：需給調査委員会：結果を会誌に掲載する。

各種会議報告

「地域医療をチームで担う人材育成事業」協議会に弘部先生 ワーキンググループに分木先生に出ていただく。

東近江市より「介護保険サミット」開催のための実行委員派遣依頼あり。前向きに検討する。

その他報告事項

次期役員立候補の届け出は2月末までである。

包括的会員管理システムの課題について検討を行った。4月に担当者を集め説明会を企画予定。

理事の意見、意向

40周年、ブロック化、災害対策について次年

度検討したい（本白水会長）

○審議事項

議題1 議事録署名人選出の件（副会長 平岩）

報告・説明 本白水会長 松岡副会長、平岩副会長の3名を議事録署名人とする。

質疑応答 特になし

議 決 議題は、満場一致で承認された。

議題2 組織の見直しについて（宇於崎理事）

報告・説明 資料1のように生涯学習部を管理部門と研修部門に分けたい。

質疑応答 生涯学習については異論ないが、他の部門についても現在統合などを検討している。（平岩）

議 決 生涯学習の部分については、満場一致で承認された。他の部門に関しては継続審議となった。

閉 会

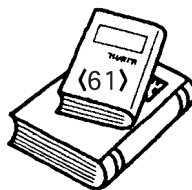
次回理事会は後日調整を行うことにしを確認して閉会。

資料1

会 長	副会長（事務局長）	理 事	総 務
			財 務
	副機長（学術局長）	理 事	I T
			広 報
		理 事	研 修 部
			講 習 会 事 業 部
		理 事	生 涯 学 習 部
		理 事	生 涯 学 習 管 理 部
	副会長（社会局長）	理 事	学 術 誌 部
			教 育 部
		理 事	診 療 報 酬 部
		理 事	介 護 保 険 部
		理 事	保 健 福 祉 部
			職 能 部
		理 事	公 益 事 業 部
			厚 生 部

こんな本

読みました！



大津市民病院 並河 孝

『消毒はやめて、ラップと白ワセリンで包み込めば、やけどと擦り傷は治ってしまう』と力説されている。医療現場では、乾かす治療からうるおい治療に変わってきていますが、一般社会では根強く残っています。乾燥肌やひび・あかぎれまで治るとわかりやすく書いている著者は、一般病院の形成外科医です。キズ口からバイ菌が入ったら大変とバイ菌を殺そうとする。鎧(よろい)をかぶったバイ菌よりむき出しになった弱ったキズ口の細胞の方を痛めてしまい、逆にキズの回復を遅らせてしまうということです。消毒したら浸みこんで痛いのは、身体を傷つけているためで警告ランプであるとのこと。それでは、キズをどのように治すかという、水道水で汚れを洗い落とし、水分を拭き取り、食品用ラップにワセリンを塗りキズにあて、テープで留めて包帯を巻く。そして一日1～3回(冬は1回夏は3回)キズの周囲を洗い再度包み込みこれを繰り返すのです。水道水がなければ、ペットボトルのお茶や、川の水でも良いとのこと。今まではキズが乾いたら治っていたと思っている人が多いが、そうではなく治ったら乾いていたのである。この経験があるので、乾いて治すと理解しているのである。キズに使う消毒薬は、口に入れられませんので、軽い薬でなく比較的強いようです。ただしキズには悪い影響ですが、物の消毒には大きな役割を果たします。そのほか、こんなときどうするの?として具体的な治し方が紹介されています。是非ご一読ください。

【題名】

『キズ・ヤケドは消毒してはいけない「うるおい治療」のすすめ』

著者

夏井睦(なついまこと)
石岡第一病院傷の治療センター長

出版社
主婦の友社

定価：1,300円



◎関節ファシリテーション学会 関西支部主催 技術研修会のお知らせ

関節ファシリテーション (Synovial Joints Facilitation: 以下SJF) とは関節潤滑理論に基づき、関節面を近づけること (close) によって得られる関節運動の量的・質的な動きを改善させる治療技術として宇都宮RPTによって開発されたものです。

この技術は、特殊な運動療法技術ではなく、他の運動療法技術を施行する前に使用とされるもので、きわめて基礎的な運動療法技術であることが、臨床応用によって証明されています。この度、SJFの基礎を中心とした理論と技術についての研修会を開催いたします。奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

内容：SJF理論と技術

講師：亀井 俊幸先生

河村メディカルクリニック SJF学会本部理事

日時：平成24年6月3日(日) 10:00～15:00

会場：特定医療法人社団御上会 野洲病院

参加費：1,000円

定員：30名程度

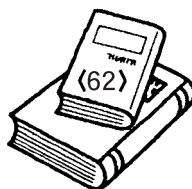
対象：理学療法士・作業療法士

※ 滋賀県内勤務あるいは在住の方

申し込み先：関節ファシリテーション学会 関西支部
ホームページより詳細をご確認ください。
(<http://www.geocities.jp/sjfkansai>)

こんな本

読みました！



大津市民病院 並河孝

食生活と高血圧の研究で世界的学者の家森先生の著書であり興味深く読ませて頂いた。世界人口の半数は都市に住んでいる現在、都市化を無視して健康問題を考えられないと25か国の調査している著者は述べている。アフリカのマサイ族を1986～1987年に調査され、高血圧の人がほとんどいなかったのに、11年後に再調査に行くと血圧の高い人が増えていた。マサイの人は、“キブユ”というひょうたんに牛乳を入れ遊牧していて、牛を追って歩いているうちに発酵してヨーグルトになりそれで水分補給していた。キブユを牛の新鮮な尿で洗浄し、ある特殊な香木を燻(くすぶ)らせて乾かしていたので、植物由来の乳酸菌が含まれていた。それが再調査時には、マーケットができ焼肉が売られていて、貴重品であった塩が安く手に入るようになり、たっぷり付けて食べていた。またキブユを洗うのに不潔ということで政府が規制して、水のペットボトルを配った。水を飲むことにより、腐らないヨーグルトを水分補給の方法にしないで済むようになってきた。都市化により生活習慣の変化に警告を発していて、伝統食の必要性を訴えている。日本の食生活で考えると、若い人が高脂肪で高カロリー、保存料の多いコンビニ食を好んで食べなれている上に、女性のスリム志向にWHOも警告している。大事な家庭での伝統食(豆・ゴマ・わかめ・野菜等)を子どもの頃から三食食べる習慣をつけ、栄養学をもう一度見直していく必要性が述べられている。自分の問題と思って一度手にしてはいかがでしょうか。内容の濃い本です

【題名】
『世界一長寿な都市はどこにある?』

著者
家森幸男(やもりゆきお)
京都大学名誉教授

出版社
岩波書店

定価：2,000円



平成24年度 滋賀県理学療法士会 研修会案内

第1回研修会

日時： 5月20日(日) 10時～15時
会場： G-NETしが
テーマ：『CT・MRI所見から脳卒中患者の臨床症状を理解する』
講師： 大村優慈先生(首都医校)

第2回研修会

日時： 7月22日(日) 10時～15時
会場： ピアザ淡海 大会議室
テーマ：『運動器疾患に対する理学療法の考え方 一 体幹と下肢を中心に』
講師： 大工谷新一先生(岸和田盈進会病院)

第3回研修会

日時： 10月頃を予定 10時～15時
会場： ひこね燦ばれす(予定)

テーマ：『慢性疼痛疾患に対する理学療法と行動変容アプローチ(仮)』
講師： 蒿下敏文先生(清泉クリニック整形外科)

第4回研修会

日時： 12月16日(日) 10時～15時
会場： ピアザ淡海 大会議室
テーマ：『脳卒中後片麻痺患者の歩行障害とバイオメカニクスからみたトレーニング』
講師： 大畑光司先生(京都大学大学院医学研究科)

※ 該当プログラム単位および申し込み方法等は日本理学療法士協会が進めている方法への移行に伴い、後日に士会ニュースおよび士会ホームページにアナウンスさせていただきます。そちらの方をご確認下さいますようよろしくお願い致します。

事務局からのお知らせ

平成24年度分会費納入のお願い

年度会費納入の時期になりましたので、会費納入していただきますようお願い申し上げます。

日本理学療法士協会ではクレジットカード払いによる会費納入の一元化を進めております。本年度からはやむを得ない事情以外での士会での会費徴収を控えていく予定です。できるかぎり楽天カードへの切り替え、または加入をお願いいたします。協会クレジットカードにつきましては、日本理学療法士協会から案内がありましたとおり、NICOSカードは廃止となりました。つきましては楽天カードへの切り替えの手続きをすみやかにお願い申し上げます。楽天カードの手続きについては協会ホームページの会員専用ページより申し込みが可能です。

記

協会ホームページURL <http://www.japanpt.or.jp/>
ユーザー名・パスワード共通 jptagl

楽天カードの新規申し込みには紹介者IDが必要です。紹介者IDは楽天カード申し込みのページに記載されています。

また会員番号が8ケタになっておりますのでご注意ください。

会員番号12の方は100000012

この件に関してご不明な点は日本理学療法士協会事務局 03-5414-7911まで

会費納入額 20,000円

(協会費11,000円 士会費9,000円)

尚、やむを得ない場合は下記の口座にお振込みください。

振込先 滋賀銀行 瀬田駅前支店 滋賀県理学療法士会 普通741056

お願い：通帳上表示される振込元の表示される桁数が少ないので、施設名は入れないでください。
できれば氏名の後に会員番号の下5桁を入れていただくと照会しやすいです。

例：ヒロウヤズキ04648

以 上

新卒者の入会について

先生方の施設、あるいは近隣の施設に新卒者がおられましたら、日本理学療法士協会への入会をぜひおすすめください。近年は養成校にて協会への入会について案内していただけないケースも増えている様子です。日本理学療法士協会および各県士会は理学療法士の質の担保、市民への質の高い医療を提供するために教育活動を行っております。理学療法士として一人前になるためには理学療法士協会へ登録することが各免許保持者にとって最低限の努力であると考えております。どうぞこの趣旨をご理解いただき、積極的に新卒者の勧誘を行っていただきたく存じます。

記

入会方法について

免許番号取得後、協会ホームページURL
<http://www.japanpt.or.jp/> より入会登録を行ってもらってください。

初年度のみ、協会より会費の請求書が入会希望者に送付されます。会費、入会金納金後、会員証等が送付されます。

入会金、会費について

新卒者の入会

入会金 5,000円 協会費 5,000円 士会費 9,000円 合計19,000円

2年目以降の入会

入会金 5,000円 協会費 11,000円 士会費 9,000円 合計25,000円

以 上

滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

事務局 ptshiga@ares.eonet.ne.jp 担当：大津市民病院 槻本

入会 異動 財務関係 メーリングリスト登録 公文書発送

今年度より異動届は協会ホームページ（マイページ）上から行うことになりました。

<http://www.japanpt.or.jp/>

※稼働していない場合は、従来通り書類での手続きとなります。

hiraiwa@belle.shiga-med.ac.jp 担当：滋賀医大 平岩

TEL/FAX 077-548-2670

メーリングリスト登録ご希望の場合はメーリングリスト登録希望と表題に書いていただき、本文には、氏名、所属施設、会員番号（新入会の方は必要ありません）を記入して平岩までメールしてください

士会員メーリングリストアドレス shigapt-ml@freeml.com

発送物関係

reha@otsu.jrc.or.jp 担当：大津赤十字病院 リハビリテーション科 奥田

折込発送物等あれば、毎月25日までにお申し出ください

ホームページ原稿受付 4月より変更になりました

担当：kojin@belle.shiga-med.ac.jp 担当：滋賀医大 岩井

ホームページ <http://www.shiga-pt.or.jp>

会員専用ページ ユーザー名 shiga-pt-75 パスワード since1975

士会ニュース原稿受付

shigaptnews@infoseek.jp 担当：公立甲賀病院 龍本

研修関係

ptshigakennsyuukai@yahoo.co.jp 担当：ヴォーリズ記念病院 清岡

生涯学習関係

h-kawasaki@pt-si.aino.ac.jp 担当：滋賀医療技術専門学校 川崎

TEL 0749-46-2322

厚生事業関係

ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp 担当：蒲生病院 奥田



事務局 だより

4 月分

○会員数 639 名 (平成 24 年 2 月 29 日現在)

○賛助会員 5 社

会員異動 (平成 24 年 1 月 1 日から 2 月 29 日)

異動種別	件 数
休会	3
県内異動	4
退会	1
転出	2
転入	3

会員異動に関して

本年度より協会のホームページ上から会員異動の手続きを行うようになります (包括的会員管理システム※)。手元にユーザー名、パスワード等の書類が送られてきていると思いますが、各種届出や生涯学習の単位確認などを行うのに必要です。大切に扱ってください。

協会ホームページ <http://www.japanpt.or.jp>

所属施設の変更、県内外への異動、姓の変更、自宅住所の変更などがありましたら必ず、協会のホームページ (マイページ) にてお手続きください。

※本稿執筆時にはまだ包括的会員システムは準備中です。本年 4 月より稼働予定となっておりますが、稼働していない場合は従来通り書類での手続きとなりますのでご了承ください。

会員証について

協会より配布された新会員証は大切に扱ってください。また、協会または士会主催の研修会や学会参加時には必ずご持参ください。参加登録に必ず必要となります。

会費未納の方へ

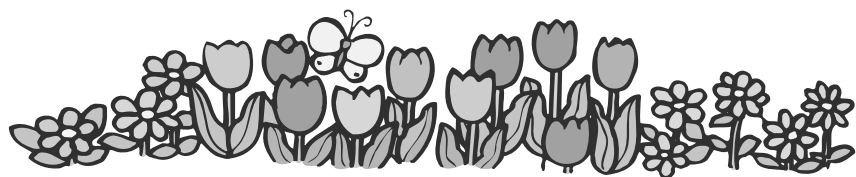
会費未納の方は速やかに納金してください。協会より督促が来ていると思いますので、その指示に従って納金してください。また、来年度以降、未納があると協会の WEB 上から申し込む研修会への参加できなくなるようですのでご注意ください。

異動届、入会届送付先 会費関係問い合わせ先

〒520-2192

大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学医学部附属病院
リハビリテーション部 平岩康之 宛

問い合わせ hiraiwa@belle.shiga-med.ac.jp



編集後記

震災から1年が経過しました。復興はこれからです。力を合わせていきましょう。

K



広報部メールアドレス

shigaptnews@infoseek.jp

SHIGA SCHOOL
of Medical Technology

滋賀医療技術専門学校

～新しいリハビリテーション医学を学ぼう～

最速・最短・最小学費で国家資格を取得！

- ①理学療法学科・作業療法学科ともに最短資格取得の3年制！
- ②学費は3年間でわずか300万円！
- ③関連校である藍野大学への編入制度を計画中！

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967番地

学校法人 藍野学院

滋賀医療技術専門学校

TEL : 0749 (46) 2311

FAX : 0749 (46) 2313

E-mail : shiga@aino.ac.jp

http://www.aino.ac.jp